



2023年4月14日

各位

会社名 株式会社三陽商会  
代表者名 代表取締役社長 兼 社長執行役員  
大江 伸治  
(コード: 8011 東証プライム)  
問合せ先 経営統轄本部 IR 部長  
谷内 祥宏  
(TEL: 03-6380-5421)

## 業績予想と実績値との差異及び 特別損失及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、2022年12月27日に公表致しました2023年2月期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたこと、また2023年2月期連結決算において特別損失及び繰延税金資産を計上したことを、下記の通りお知らせ致します。

### 記

#### 1. 業績予想と実績値との差異

##### (1) 2023年2月期連結業績予想値と実績値との差異

(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 57,500	百万円 1,900	百万円 2,000	百万円 1,550	円 銭 128.49
実績値(B)	58,273	2,235	2,437	2,155	178.68
増減額(B-A)	773	335	437	605	
増減率(%)	1.3	17.6	21.9	39.0	
(参考) 前期実績 (2022年2月期)	38,642	△1,058	△735	661	54.59

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度から適用している為、上記の前回発表予想及び実績値は同基準適用後の金額、前期実績は適用前の実績値をそれぞれ記載しております。

##### (2) 差異の理由

コロナ鎮静化に伴う市場回復により、売上高、営業利益、経常利益はそれぞれ前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、上記に加え、以下2に記載の通り、繰延税金資産を計上したこと等により、前回予想を上回りました。

#### 2. 特別損失及び繰延税金資産の計上

##### (1) 特別損失の計上

政策保有株式の縮減方針を受けた、保有投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却損を184百万円、工口

アルフ商標権の減損損失を425百万円（非支配株主持分125百万円を含む）、それぞれ2023年2月期第4四半期連結会計期間において特別損失へ計上致しました。また、一部店舗において収益性の低下が見られたことから、該当店舗の固定資産（店舗設備等）の減損損失を、2023年2月期通期で383百万円、特別損失に計上しております。

(2) 繰延税金資産の計上

2023年2月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2023年2月期連結決算において繰延税金資産を計上致しました。これにより、2023年2月期の法人税等調整額（△は利益）は、△883百万円となりました。

以上